

I 第4週の発生動向 (2012/1/23~2012/1/29)

- インフルエンザについては、八戸保健所及び五所川原保健所管内において**警報**が発令され、東地方+青森市保健所、弘前保健所及び上十三保健所管内において**注意報**が発令されました。
詳細については、**V県内インフルエンザ情報**をご覧ください。
- 水痘については、弘前保健所管内において**注意報**が発令されました。

II 第4週五類感染症定点把握 注: 五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
(85) インフルエンザ	304	21.7	351	23.4	551	39.4	223	31.9	214	23.8	23	3.8	1,666	25.6	1057	6	3.0	298	24.8
(74) RSウイルス感染症	3	0.3	3	0.3	5	0.6	6	1.2	5	0.8			22	0.5	-5			3	0.4
(75) 咽頭結膜熱	2	0.2	5	0.6									7	0.2	-1			2	0.3
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	2.7	7	0.8	39	4.3			16	2.7	8	2.0	94	2.2	32			24	3.0
(77) 感染性胃腸炎	44	4.9	20	2.2	10	1.1	6	1.2	24	4.0	20	5.0	124	3.0	-43	11	11.0	33	4.1
(78) 水痘	14	1.6	36	4.0	9	1.0	7	1.4	3	0.5	3	0.8	72	1.7	2			14	1.8
(79) 手足口病															-2				
(80) 伝染性紅斑					2	0.2					2	0.5	4	0.1	-1				
(81) 突発性発疹	4	0.4	4	0.4	2	0.2			5	0.8	2	0.5	17	0.4	5			4	0.5
(82) 百日咳															0				
(83) ヘルパンギーナ															0				
(84) 流行性耳下腺炎	4	0.4	9	1.0	18	2.0			10	1.7	2	0.5	43	1.0	10	2	2.0	2	0.3
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	2	1.0					1	1.0					3	0.3	-7			2	1.0
(92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎					6	6.0					2	2.0	8	1.3	-12				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注: 届出状況は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患): 青森市2人、むつ1人(24年計:24人)

IV 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- インフルエンザ患者3名(鼻汁、12/14、12/15、1/5)・・・インフルエンザウイルスAH3亜型及びライノウイルス(HRV): 弘前(1)、インフルエンザウイルスAH3亜型: 八戸(1)、HRV: 弘前(1)
- ヘルパンギーナ患者1名(咽頭ぬぐい液、12/6)・・・インフルエンザウイルスAH3亜型: 弘前(1)
- 無菌性髄膜炎患者1名(咽頭ぬぐい液、12/7)・・・HRV: 八戸
- 突発性発疹患者2名(鼻汁、咽頭ぬぐい液、12/2、12/8)・・・ヒトヘルペスウイルス6型(HHV6)及びHRV: 弘前(2)
- 下気道炎患者5名(鼻汁、12/1~12/8)・・・HRV: 弘前(4)、ヒトメタニューモウイルス(HMPV): 弘前(1)
- 上気道炎患者1名(鼻汁、11/28)・・・HRV: 八戸
- 感染性胃腸炎患者5名(直腸ぬぐい液、腸内容物、12/2~12/7)・・・ノロウイルスGII型(NVGII): 弘前(3)、NVGII及びコクサッキーウイルスA9型: 弘前(1)、NVGII及びHRV: 弘前(1)

感染症の窓

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(五類定点把握疾患)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、学童期の小児に最も多く、冬季及び春から初夏にかけての2つの報告数のピークが認められます。

潜伏期2~3日で、突然の発熱、全身倦怠感、咽頭痛により発症します。通常は患者との接触を介して伝播するため、ヒトとヒトとの接触の機会が増加する時に起こりやすく家庭、学校などの集団での感染も多くなっています。感染性は、急性期に最も強く、その後、徐々に減弱します。

予防のためには、患者との濃厚接触を避けることが最も重要ですが、うがい、手洗いなどの励行も大切です(IDWR「感染症の話」)

県内の保健所管内別では、青森市、八戸、上十三で平年(過去10年間の平均)よりも多くなっています(図)。

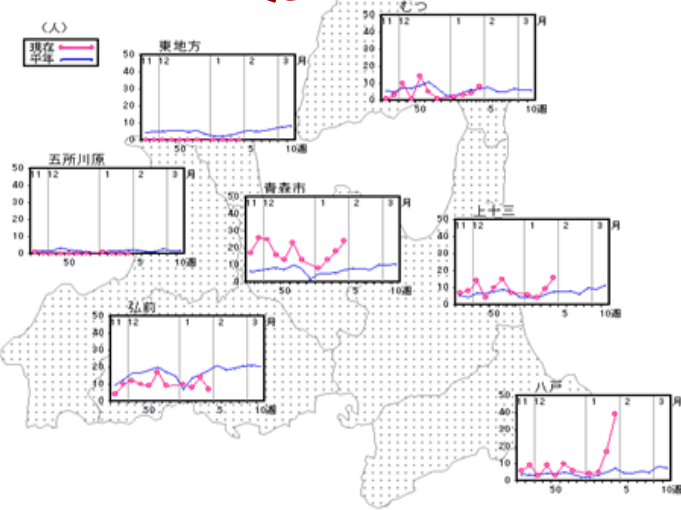


図 保健所管内別報告数の推移

V 県内インフルエンザ情報

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数

週	49	50	51	52	1	2	3	4
保健所名								
東地方							1	6
弘前	9	22	30	22	24	42	119	351
八戸	1	4	8	30	36	57	216	551
五所川原		1	5	3	16	22	104	223
上十三		1	28	32	30	15	67	214
むつ				1	1		5	23
青森市		2		2	9	15	97	298

A型（迅速診断キットによる型別です）

週	49	50	51	52	1	2	3	4
保健所名								
東地方							1	6
弘前	9	21	30	22	24	42	117	345
八戸	1	4	8	30	30	53	200	506
五所川原				1	14	21	104	216
上十三		1	26	31	27	15	64	195
むつ				1	1		5	22
青森市		2		2	9	15	80	259

B型（迅速診断キットによる型別です）

週	49	50	51	52	1	2	3	4
保健所名								
東地方								
弘前		1					2	5
八戸					1	1	2	7
五所川原		1	4	2	2	1		6
上十三					1		1	8
むつ								1
青森市								1

年齢区分別

週	49	50	51	52	1	2	3	4
～5ヶ月				1			4	7
～11ヶ月				1	3	2	7	12
1歳	1		1	1	6	14	25	45
2歳			2	3	2	12	39	66
3歳			6	2	6	15	36	100
4歳		2	4	9	5	9	47	111
5歳		3	3	4	3	10	58	126
6歳		1	1	3	6	4	52	131
7歳	1	3	3	5	2	2	27	94
8歳		2	7	8	2	4	28	114
9歳	1	3	1	2	2	1	26	82
10～14歳	5	5	20	18	8	16	108	428
15～19歳		2	6	4	4	2	14	51
20～29歳		1	3	5	15	17	28	45
30～39歳		5	3	12	13	12	38	104
40～49歳	2	2	7	3	21	14	23	64
50～59歳			2	3	10	8	19	39
60～69歳		1		3	4	5	12	24
70～79歳			1		1	3	9	12
80歳以上			1	3	3	1	9	11

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（届出数は速報値です）単位：人 2011年第37週～2012年第3週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
37	H23.9.12 ~ H23.9.18						アメーバ赤痢1人
38	H23.9.19 ~ H23.9.25			梅毒1人			
39	H23.9.26 ~ H23.10.2						
40	H23.10.3 ~ H23.10.9						
41	H23.10.10 ~ H23.10.16		破傷風1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		つつが虫病2人 急性脳炎1人	
42	H23.10.17 ~ H23.10.23						
43	H23.10.24 ~ H23.10.30			破傷風1人			
44	H23.10.31 ~ H23.11.6						
45	H23.11.7 ~ H23.11.13					つつが虫病2人	
46	H23.11.14 ~ H23.11.20						
47	H23.11.21 ~ H23.11.27		つつが虫病1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
48	H23.11.28 ~ H23.12.4						
49	H23.12.5 ~ H23.12.11						
50	H23.12.12 ~ H23.12.18			レジオネラ症1人			
51	H23.12.19 ~ H23.12.25						
52	H23.12.26 ~ H24.1.1						
1	H24.1.2 ~ H24.1.8						
2	H24.1.9 ~ H24.1.15			レジオネラ症1人			
3	H24.1.16 ~ H24.1.22	後天性免疫不全症候群1人		急性脳炎1人			

VII 結核(二類全数把握疾患) 単位：人 2011年第37週～2012年第3週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
37	H23.9.12 ~ H23.9.18	1	1	3		1	
38	H23.9.19 ~ H23.9.25	2		2			
39	H23.9.26 ~ H23.10.2	7		3	1	1	1
40	H23.10.3 ~ H23.10.9	3	1	3		4	
41	H23.10.10 ~ H23.10.16	1	3	2	1	3	
42	H23.10.17 ~ H23.10.23	3	2				1
43	H23.10.24 ~ H23.10.30	1	1	2		1	
44	H23.10.31 ~ H23.11.6	1		4		1	
45	H23.11.7 ~ H23.11.13	1	1	3	1		1
46	H23.11.14 ~ H23.11.20	1	3		1	1	3
47	H23.11.21 ~ H23.11.27	1	1	4	1	2	
48	H23.11.28 ~ H23.12.4	1	2	10		3	
49	H23.12.5 ~ H23.12.11	2	1	4	3		
50	H23.12.12 ~ H23.12.18	3	1	10	2		
51	H23.12.19 ~ H23.12.25	3	1		3		
52	H23.12.26 ~ H24.1.1	2	3		1		1
1	H24.1.2 ~ H24.1.8	1	1	1	1		
2	H24.1.9 ~ H24.1.15	1		3	1	1	2
3	H24.1.16 ~ H24.1.22	2	1	4	1	1	

VIII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

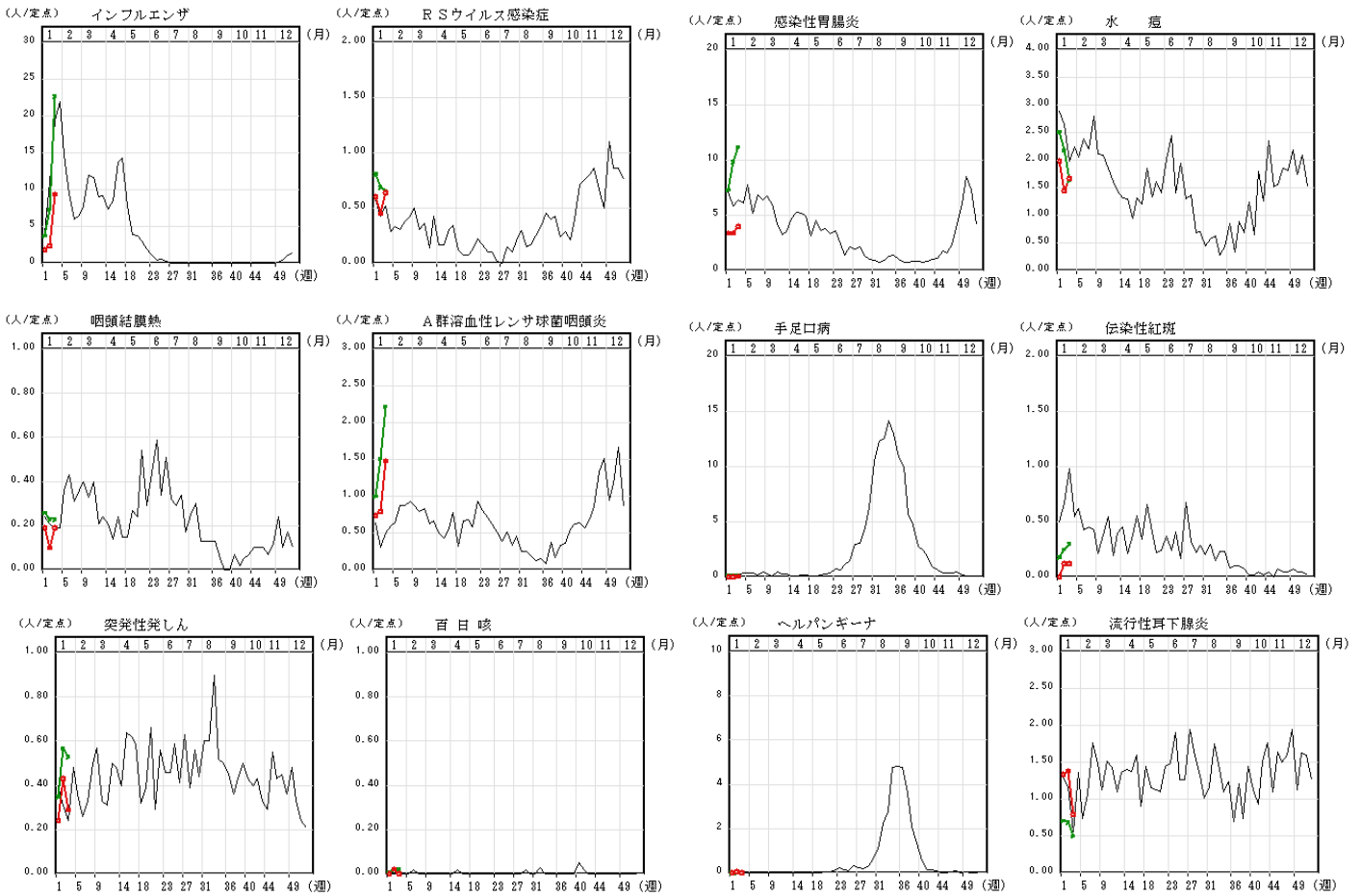
2012年1月30日19時集計速報値

	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	つつが虫病	デング熱	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群
全国	1235	1	10	43	1	11	5	1	43	9	2	40	1	43	8	31	1	6	22	68
青森県	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0

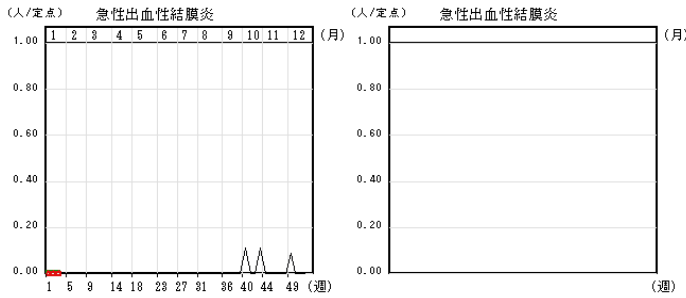
	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	髄膜炎菌性髄膜炎	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん
全国	2	34	5	4	17	19
青森県	0	0	0	0	0	0

グラフの説明 ○—○は2012年青森県、——は2011年青森県、○—○は2012年全国

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 2012年第3週



X 眼科定点把握疾患週別推移 2012年第3週



XI 基幹定点把握疾患週別推移 2012年第3週

